

学科名	電気電子工学科							
科目名	電磁気学 I							
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年後期			
必修・選択の別	必修科目(応用エレクトロニクスコース)／必修科目(エネルギー・環境コース)／必修科目(情報通信コース)							
担当者	江上 典文							
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・単純な電荷分布を与えたときの電界、電位を求めることができる。 ・電界、仕事、電位の関係がわかる。 ・誘電分極、電束密度がわかる。 ・キャパシタの電荷量、電界、エネルギー、電位差、電気容量を求めることができる。 ・簡単な直流回路の動作がわかる。 							
日程と内容	9/27 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法、電界に関するガウスの法則 10/4 電界中での仕事 10/11 位置エネルギー 10/18 電位差、電位 10/25 等電位面、導体と静電界 11/1 キャパシタと電気容量 11/8 キャパシタの合成 11/15 誘電体とキャパシタ 11/22 電束密度 11/29 静電エネルギー 12/6 静電界のまとめ 12/13 電流、抵抗、直流回路 12/20 電流と仕事 12/24 熱電効果 1/10 総合演習 1/17 定期試験							
成績評価基準	定期試験	70%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	0%		
	演習	30%	計	100%				
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・単純な電荷分布を与えたときの電界、電位を求めることができる：達成 ・電界、仕事、電位の関係がわかる：達成 ・誘電分極、電束密度がわかる：達成 ・キャパシタの電荷量、電界、エネルギー、電位差、電気容量を求めることができる：達成 ・簡単な直流回路の動作がわかる：達成 							
反省点	より平易な説明を心掛けたこと、また、前期に初等電磁気学、後期に電磁気学 I を引き続き行い、講義の連続性が保たれたことで、講義内容の平均理解度は格段にアップしたが、一方で、若干名、講義についてこれない学生が散見された。							
来年度の計画	講義内容の質は落とさず、重要部分の説明をさらに平易にすることで、講義についてこれない学生の数を減らしたい。							
授業評価アンケートに対するコメント	アンケートでは全受講生の3割から、“わかりやすかった”との声が寄せられた。							
履修登録者数	58名	定期試験 受験者数	56名	合格者数	53名	合格率	95%	